

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	雷門 幸福 先生 ( 落語の達人 )	所属	なごや雷門
実施校	豊橋市立花田小学校		
実施日	平成21年9月18日(金曜日)		
実施学年・学級	6年い組(33人) 6年ろ組(33人)		
教科等名	国語	単元・題材名	言葉の由来に関心を持とう
授業の目標	<p>達人の話を聞き、語り(日本語の表現)のおもしろさを味わうことで、日本語に関心を持たせ、達人の話し方を模倣することで、ことばの持つ意味を意識することができる。</p>		
授業の実際	 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 達人の紹介を聞く。(教師)</li> <li>2 達人の芸に触れる。(達人)「寿限無」</li> <li>3 達人の工夫しているところについて話し合う。(教師) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場面の様子が思いうかぶように話しているね。</li> <li>・ 声の大きさや速さ、間の取り方を考えているね。</li> <li>・ 身振り手振りをつけたり、口調を変えたりしているね。</li> </ul> </li> <li>4 所作をまねしてみよう。(達人・教師) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 達人から模範演技披露。</li> <li>・ 個人練習する。</li> <li>・ グループに分かれて所作を演じ合う。</li> </ul> </li> <li>5 達人に質問をする。(達人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なぜ落語家になったのか。</li> <li>・ どんな生活をしているのか。</li> </ul> </li> </ol>		
児童生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物が変わるところで声や仕草を変えていた。実際にやってみるととても大変なことが分かった。</li> <li>・ 扇子と手ぬぐいで、いろんなことができるんだと思った。</li> <li>・ 大きな動きでとてもわかりやすかった。</li> <li>・ 本物のウナギが見えるようでとても不思議だった。</li> <li>・ 声に出さなくても、表情や仕草で人に伝えることができるんだと感じた。</li> </ul>		
教師の感想	<p>ほとんどの子ども達にとって、今回が生の落語を聞く初の体験となった。そんな子ども達の表情からは、幸福さんの声の迫力や、間の取り方、大きな仕草など、一つ一つの所作にとっても感心しているようだった。また、子ども達の中に入り、子ども達とふれあいながら扇子の使い方を教える姿勢を見て、教師もとても参考になった。</p>		